



健康づくり応援通信

健康づくり課 ☎ 21-0228

子宮頸がんのワクチン接種と子宮頸がん検診を受けましょう

子宮頸がんとは

子宮の入り口にできるがんで、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。20～30歳代の若い女性では、乳がんに次いで多いがんです。近年、39歳以下の日本人女性で発病や死亡が増えています。発症にはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しています。

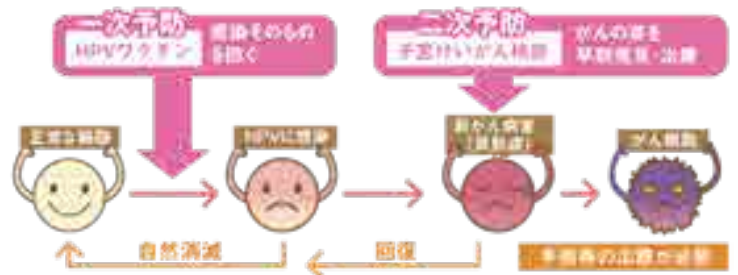
子宮頸がんはワクチン接種と検診で予防と早期発見が期待できます。HPV ワクチンを接種することで、子宮頸がんの原因となるウイルスへの感染を2価・4価ワクチンでは50%から70%、9価ワクチンでは80%から90%予防することができます。HPV ワクチンは年齢が若いほど効果が高い傾向があります。また、ワクチン接種による一次予防（感染そのものを防ぐ）と子宮頸がん検診による二次予防（早期発見・治療）が大切です。

ワクチン接種の効果とリスクについて十分にご理解いただき、接種をご検討ください。20歳になったら毎年検診を受けて、早期発見に努めましょう。

令和5年度の集団検診の日程と医療機関検診については、「令和5年度けんこうガイドブック」をご参照いただき、ご自身に合った方法で受診してください。



なかむら ゆき 保健師
(健康づくり課)



成羽病院通信

成羽病院 ☎ 42-3111

医療スタッフによる出前講座

成羽病院事務局医事係 小川麻衣主事

「医療のことについて、専門家から詳しく話を聞いてみたい」と思ったことはありませんか？ 今回は、成羽病院の「出前講座」についてご紹介します。

成羽病院では、「地域の皆さんに親しまれ、信頼される病院」を目指す基本理念のもと、市民の皆さんが主催する集会などに職員が講師として出向き、無料で講習などを行っています。昨年度は新型コロナウイルスの影響などで5回の開催となりましたが、各講座ともご好評をいただきました。

令和5年度の出前講座の内容は21種類

まず、医師が担当する講座は10種類あります。現在開催希望が多いテーマは、「コロナウイルス感染症」についてです。他にも、生活習慣病としてよく知られている「糖尿病」についても実施しています。昨年度は、参加者の希望により「みんなで考えようACP、初めての人生会議」というテーマの講座も行いました。

また、医師だけでなく、薬剤師や管理栄養士、リハビリスタッフなどさまざまな職種の専門家による講習も行っています。成羽病院の皮膚・排泄ケア認定看護師による「正しいおむつの選び方」や「塗り薬の塗り方」、理学療法士による「ロコモ体操」の講習など、専門職ならではの情報を提供することができます。

この出前講座は、市民の皆さんの医療、健康づくりへの意識向上や地域医療のレベルアップを図ることを目的に開催しています。気になる講座がありましたら、成羽病院へお申し込みください。